

福生 FUSSA

# 市議会だより

第 66 号

60 年 7 月 20 日

発行 福生市議会

東京都福生市本町5番地  
電話 0425 (51) 1511 (代表)



「ワイプールのだ」「ワア冷たい」

梅雨明けを待ちきれず

みんな楽しく水遊び

—七月十日すみれ保育園で—

第二回

臨時会

(五月十三日)

就任にあたって

去る五月十三日に第二回臨時会が招集され、閉会中に専決処分した承認案件三件と税賦課徴収条例の一部改正が市長から提出され、それぞれ起立採決の結果原案のとおり可決されました。

また、正副議長の辞職に伴う選挙の結果、議長に森田治男議員、副議長に仲村清信議員が決まり、任期満了となった三常任委員会委員と各種行政委員会委員の改選も行われました。

謹んで御挨拶を申し上げます。

去る五月十三日の臨時会において、大変せん越ながら議員各位の御推挙を受け、私どもが正副議長の重責を担うことになりました。

もとより微力ではありますが、市政発展のため、市民の皆さまのパイプ役として誠心誠意努力いたす所存であります。

さて、今年は期せずして市制施行十五周年という節目の年にあたり、その足跡を振り返ると、決して平穩な道のりではなかったと思われれます。加えて最近は、国・地方を問わず行財政改革が緊急かつ重要な課題となっており、当市も避けて通ることのできない問題であります。

私ども議会側としてもより市民のために、効率的な行財政運営に一層努力をすると共に、そうした厳しい状況下ではあっても行政の高水準を堅持しつつ、二十一世紀に向けて将来展望に立脚した行政施策の推進に努め、市民サイドに立った住み良いまちづくりに努力して参りたいと存じますので、今後とも一層の御支援、御理解をお願い申し上げます、御挨拶いたします。



副議長

仲村清信



議長

森田治男

第2回 定例会

審議日程

6月	
11日	本会議
12日	本会議
13日	建設委員会 厚生委員会
14日	総務委員会
18日	議会運営委員会
20日	本会議

うっとうしい梅雨が続く中で、第二回定例会が六月十一日から二十日までの十日間の日程で開かれ、福生市行政改革審議会案例を初め、六十年度一般会計補正予算や表彰条例に基づく自治功労表彰などが審議されました。

(第一日目) 会期の決定がされた後、すでに通告のあった一般質問が五人の議員より行われ、緑化推進や福祉対策、教育行政等について、市長の考えを聞きました。

また、議員と職員の期末手当の支給条例が追加提案され、原案のとおり可決されました。

(第二日目) 市長より提案された議案審議に入り、行財政の効率的な運用を図るための福生市行政改革審議会案例や六十年

度一般会計と二つの特別会計の補正予算が提案され、それぞれ担当委員会へ付託されました。

また、永年市行政に対し貢献された方々を七月一日に表彰するための表彰案件十六件と十月三十一日で任期満了となる人権擁護委員候補者の推薦に関する議案が二件提案され、それぞれ原案のとおり決まりました。

(第三日目) 休会中に各委員会で審査された議案が各委員長から報告され、福生市行政改革審議会案例は、賛成、反対の討論を行った後、起立採決したところ賛成多数で可決され、六十年度一般会計や二つの特別会計補正予算と新たに追加された下水道工事請負契約二件が、それぞれ原案のとおり可決、同意されました。

# 大切な緑保存のための 今後の計画はどうか

中福生公園は予定どおり実施されるのか、これ以外の計画があるのか。  
② 緑化推進の一環として、植栽可能な市道に花木を植えたかどうか。

## 一般質問



第2回定例会では  
5人の議員が一般  
質問を行いました

### 質問 ① 今

年は国際森林年であり、人間は自然と共存していくことが肝要である。都も緑の倍增計画をう

たっており、当市も緑のマスタープランを設定しているが、本年度事業の仮称熊牛公園、長沢公園、原ヶ谷戸緑地、六十一年度事業の仮称熊川東公園、武蔵野橋公園、熊川北公園、六十二年

度事業の仮称熊川東公園、武蔵野橋公園、熊川北公園、六十二年

度事業の仮称熊川東公園、武蔵野橋公園、熊川北公園、六十二年

度事業の仮称熊川東公園、武蔵野橋公園、熊川北公園、六十二年

度事業の仮称熊川東公園、武蔵野橋公園、熊川北公園、六十二年

度事業の仮称熊川東公園、武蔵野橋公園、熊川北公園、六十二年

度事業の仮称熊川東公園、武蔵野橋公園、熊川北公園、六十二年

度事業の仮称熊川東公園、武蔵野橋公園、熊川北公園、六十二年

度事業の仮称熊川東公園、武蔵野橋公園、熊川北公園、六十二年

度事業の仮称熊川東公園、武蔵野橋公園、熊川北公園、六十二年

度事業の仮称熊川東公園、武蔵野橋公園、熊川北公園、六十二年

緑を一つのテーマとして策定していききたい。

建設部長 ① 仮称熊牛公園、長沢公園は、五十九年度で用地買収が終わり、六十年

度で整備する。仮称原ヶ谷戸緑地については、関係地主の好意によ

り六十年で整備する予定である。熊川東公園と熊川北公園は

六十年で用地買収し、六十一

年度で完成する計画である。

また、武蔵野橋公園の用地買

取も予定している。

六十二年度については、清

院橋から熊野橋までの三角地を

仮称中福生公園として用地買収

をし、六十三年度に完成する計

画である。

② 市道は狭い道路が多く現在

大切にしたい少ない緑



さは六キロだが、今後年次計画に沿って整備していき

たい。

市民部長 樹林地については現在

奨励金制度を実施しており、今後も

継続していきたい。樹林地として

設定した場合、福生市の緑を守り育

てる条例があり、所有権移転等は市長に届け出するこ

とになっている

で、市長が必要と認める場合は所有者と協議し優先的に買い上げができることになっている。

樹木等の奨励金についても実施計画で検討しているが、財政の許す範囲で助成について検討したい。

樹木の調査基準としては、地上1・5メートルで幹回りが一

・三メートル、直径約四十センチ以上、高さが十メートル以上

を、また、生け垣については道路や民地に面し、刈り込み等の管理が十分行われ、高さが一メ

ートル以上を調査対象にしたい。

早期解決を望む

多摩川の浄化

質問 多摩川の浄化、美化に

ついては、多摩橋わきの野焼き

問題、都市下水路の流出口汚染

等の問題があり、浄化に大切な

羽村せきからの放流も毎秒二ト

ンと少なく、当市にとつては少しでも多く流してもらうことが願ひである。四十五年に閣議決定されたBOD二P P M以下にするよう強く訴えるべきと思うがどうか。

**市長** 野焼き問題については、全面解決を図るべく建設省や秋川市とも努力しているが、関係者から新たな要求も出され解決にはいたっていない。今後とも説得を続けていきたい。

多摩川の水量を増やすことについては、河川管理者である建設省が定めた多摩川環境管理計画により、水利体系の再編も必要であり、長期的、広域的視野に立って検討してもらうことが必要である。

今まで関係方面に要請してきたが、四十五年の閣議決定による生活環境の保全に関する基準をもとに今後も要請していきたい。

**建設部長** 野焼き問題について、昨年十二月時点で野焼きはしないで、新しい占用地に移動することで合意を得たが、今年になって新しい占用地で焼却炉で焼却行為をさせてほしいとの要望が出された。周辺住民も長年苦しんできた問題でもあり、市では認めないということ、話し合いも最終的な合意を得られないまま現在に至っている。

今後も交渉は続けていく考えである。

都市下水道の水質改善については、都市下水道組合では生活の雑排水が汚染の原因になっていることから、沿道家屋の水洗化普及に心がけているが、現在約六五〇の普及率で、当市の区域内は約九五〇となっている。

なお、瑞穂町の都営住宅の公共下水道接続は、都の計画として五十九年度から三カ年計画で進め、約三分の一の水洗化が終わった状況である。

流出口の汚染度も年々下がってきているが、六十五年を目標に三・五P P M程度までに改善するよう進めている。

### 中福生駐在所周辺の

#### 道路の安全対策を

**質問** 奥多摩街道の清岩院橋から体育館に向かう中福生駐在所周辺までの約百メートルの道路は、側溝と道路との段差が大きく悪臭もし、側溝に落ちてけがをした例もある。下水道も完備した今日、交通上の安全対策を図る考えはあるか。

**市長** 道路の側溝の段差があつて危険なこの道路は都道であるので、早急に対処すべく関係

機関と協議している。

**建設部長** 先般都の幹部と協議したが、都の長期計画で全体路線の見直し等もあるようだが、日常生活に影響を及ぼす都道は、速やかに改修してほしい旨要望した。路面改修や側溝問題もあるが、とりあえず安全策としてガードレール等を設置する考えがあるとのことである。

### 下の川の悪臭

#### 国への働きかけは

**質問** 下の川の溢水対策として分水等の努力はみられるが、悪臭問題についてはふたかけをし、抜本的解決を図らなければならぬと思うがどうか。

また、はけの樹木保全計画を立て、国に運動をする考えはあるか。

**市長** 従来から御意見をいただいているが、防衛施設局にも数年にわたり陳情してきた。おかげで本年度事業に対する調査費がついたので、緑化推進も十分考慮し、早期に実施できるよう努力していきたい。

**建設部長** 雨水処理能力から台風時には溢水するというところで、七小から陸橋までの間の断面改修の問題と、全延長に及ぶ

悪臭対策としてのふたかけという二点がある。

排水面積が横田基地と福生地区の東部となっているが、基地の排水が非常に多く流れ込むので、現在防衛施設局に要望しているが、六十年代に調査費、六

十一年度以降着手ということでも努力していきたい。

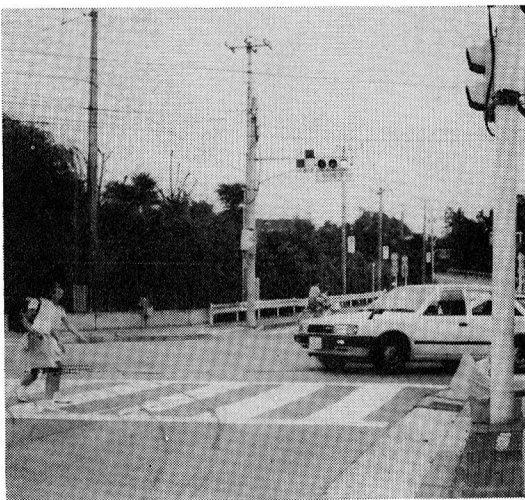
下の川沿いの緑地保全等については、民地であるので、関係権利者の協力も必要だが、自然環境等全体的な整備をする中で考えていきたいと思う。

## 児童、生徒の安全のため 歩道橋の早期設置を

**質問** 七小前の横断歩道橋設置については、五十八年に議会でも陳情書が採択され、市長より知事に要望書を提出しているが、この交差点は七小と三中の

通学路で交通量も非常に多く、大きな事故も発生している。歩道橋の早期実現についてお聞きしたい。

歩道橋の設置が望まれる7小前交差点



交通量も多く大型化している。五丁目市街道との交差点に横断歩道橋を設置することに、設置場所が都道であり都に要望しているが、都では車椅子や自転車等が渡れないとの理由から



歩道橋の見直しをしており、本年度の予定は一カ所しか計画されていない状況である。

大きな予算がかかり、都道と市道が交差しているため、都では明確な線を出さず、市独自で設計もし何回も直しているの時間がかかっているが、市ではあくまで都で実施してほしいと強く要望している。

### 危険な市役所の出入口

#### 改善の方法は

**質問** 市役所は約六十台の車が置けるが出入口が一カ所であり、交通量も多いため非常に危険である。

今年度予算にこの関係の予算も計上されているが、工事の方法等について伺いたい。

**市長** 市役所前は交通量も多く車の出入りに迷惑をかけているが、予算を議決していただいたので、市民が安心して利用できるよう工事に着手したい。

**総務部長** 出入口が一カ所のため市民の皆さんに御不便をかけているが、現在設計の段階であり、出口を駐車場の西側に設ける考えである。また、排水施設等全体の整備も行いたいと考えている。

## 市営住宅の建てかえ

### 福祉用住宅の検討を

**質問** ① 日常生活の中で、明日への原動力をはぐくむ場として住宅は最も大切な生活空間である。地価の高騰でマイホームの夢はさらに遠のき、小規模建て売り住宅など住環境は悪化の傾向にある。幸い市営住宅の

建てかえで六十二年度までに五十四戸ができるということで喜ばしいことである。  
この市営住宅建てかえ計画の中に、福祉対策の一環として自生活のできる身障者用の住宅や単身者向けの住宅を取り入れ

たらと思うがどうか。

② わが国の平均寿命は大幅に伸び、世界に例を見ないスピードで高齢化社会に入っている。そこで、深刻な問題となっているのが痴呆性老人、いわゆるボケ老人対策である。特に施設に入れず在宅ボケ老人の介護者は、家事や介護に疲れノイロ一ゼとなり、家庭崩壊という悲惨なケースもある。

痴呆性老人と介護者のために通所によるデイケア施設や援助制度などの考えについて聞きたい。

**市長** ① おかげさまで現在四棟建設したが、身障者用住宅は建築構造上の問題で難しい面もあるが、一部でも使用できるかどうか十分研究していきたい。  
また、住宅に困っている世帯も多く、現段階では単身者用住宅は難しいが、将来的には検討していかなければならないと考えている。

② 痴呆性老人のおられる家庭は大変御苦労されていると思う。国や都も高齢化対策に取り組んでいるが、都では痴呆性老人短期保護事業を、また、予防と相談は保健所でやっており、市では都の施策で対応している。介護者への補助については、実態把握が必要であり、そ

の後検討してみたい。

**総務部長** 本格的な身障者住宅については、時間をいただきたいと思うが、将来的にはそうした考えを持っている。

当面は現在の様式の中で、改良等について今後研究をしていきたい。

**福祉部長** 痴呆性老人の相談業務を昨年十月より保健所で開設したので、市民が気楽に相談できるように市としてもPRしていきたい。

### 新装なった福祉会館

#### 結婚式場の設置は

**質問** 当市も都市化の進む商業と住環境の中で、市民が行政に期待することは、総合的福祉会館の中に結婚式場を設置してほしいということであり、また、現在当市が加入している狭山火葬場組合に斎場があるが、地の利を考え当市に斎場を建設したらどうか。また、援助の考えはあるか。

**市長** 現在の福祉会館は都市計画公園内にあるということから、各種の福祉関係団体の活動の場以外に、さらにスペースを必要とする結婚式場を建設することは難しいと思う。



建てかえされた市営住宅

今後総合福祉センター計画の中で近隣の動向も勘案しながら検討していきたい。

斎場建設も大変難しい問題である。当市は狭山火葬場組合組織に入って共同事業で行っており、斎場も利用していただければと思う。また、市内の寺院でも利用できるかと考えている。

## 市内にある保育園

### 特例保育の現状は

質問 市内に十二園ある保育園では特例保育を実施していることになっているが、一部の保育園では保育の研修ということ、土曜日は午後三時までと

市民部長 昨年羽村町の斎場を利用した市民は七件あるが、各家庭で葬儀を行う場合、自宅や寺院等方法も違うわけで、斎場のみ助成することは問題もある。また、葬祭費補助として国保や社会保険からも補助されているが、研究したいと思う。

質問 このような現状をどう考えているか。

また、都立保育園の移管についてその後の動きはあったのかどうか。

福祉部長 土曜日の特例保育は、十二園中三時以降は二園が実施していない。午後一時以降になると一二割程度であり週休二日制がある程度徹底しているものと思われる。午後五時以降になると二三人の子供しかいない状態である。園側では、親の希望がないのでやっていないという回答であるが、今後も園長会議等で徹底したいと考えている。

### 整備された校庭の

#### 使用制限は

質問 ① 学校給食法は二十九年に施行され、学校における給食の意義と役割を示したものである。戦後の学校給食は食糧不足から子供を救うため出発したが、最近では飽食の時代となったものの朝食の不摂取、スナック類のはんらんから学校給食の持つ意義は一層重要である。

学校給食法では国及び地方公共団体の努力義務を定めており、当市でも中学校給食の完全実施をすべきだと思いが考えを聞きたい。

② 年次計画で学校の整備が進み喜ばしいことである。

整備された施設を有効に活用

してこそ成果が出るものである。しかし、校庭の改良工事をしたため使用制限がされているとか、教育効果を高めるための英語用のLL教室の活用についてお聞きしたい。

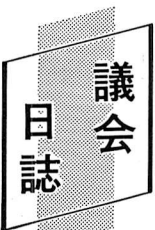
また、急病や事故等のために外から直接入れられるような出入口を設置し、保健室としての機能を高めるべきと思うがどうか。

③ 五十九年度で高校に入れない中学浪人が約七百七十人おり社会問題となっている。福生市が属する第八学区の定数は、現在就学中の中学一年生の二分の一しかない。私立校に入る生徒がいるとしても、高校の絶対数が不足している状況であり、第八学区に都立高校新設を要求する必要があると思うが、見解を聞きたい。

#### 教育次長

② クラブ活動等お互いに譲り合って有効に校庭を利用し、あまり制限しないよう校長を通じて指導していきたい。二中のLL教室は五十九年度で百十七回使われた。生徒も強い興味を示しているが、高校受験等や教科書の進捗と合わせながら利用しているということである。

保健室機能を高めるためというところで、外から直接保健室に入るドアの設置だが、防音工事の構造から無理ではないかと思



3日	三多摩上下水及び道路建設促進協議会正副会長委員長会議
9日	東京都市議会議長理事会及び総会
10日	西多摩地区議長会監査市議会だより編集会議
17日	全国市議会議長会基地協議会正副会長監事相談役会議
24日	関東市議会議長理事会(会・総会)(25日まで)
26日	広島県府中町視察来市西多摩地区議長会
30日	
5月	
1日	東京都三多摩地区消防運営協議会
2日	東京都市収益事業組合議会
7日	議会運営委員会
8日	東京都市議会議長会総会(9日まで)
13日	第二回臨時会
16日	全員協議会
	三多摩上下水及び道路

う。増築等の場合に検討してみたい。

③ 教育委員会としてもできる限り細かい指導を行うよう、校長会等で指導している。

また、都立校増設も市長会や教育長会において、毎年のように都に要望しており、今後も他市と歩調を合わせ運動していきたい。

**教育長** ④ 五十一年三月に請願書も採択されているが、五十三年に中学校給食問題研究会が発足したものの、五十五年四月に結論が出ないまま解散し、教育委員会に委ねられたという経緯もある。私どもも校長とか主任会議等協議をしており、教職員に説明してほしいという段階になれば、参加することはやぶさかではない。

② 特に二中は生徒数も多くクラブ活動も盛んであるが、場所を広く使う野球は主に校庭、サッカーは加美平グラウンドを多く使い、金属性のスパイクは禁止している。

ＬＬ教室の備品は、使って壊れるのはやむを得ないと思うので、有効利用について指示したいと思う。

### 教育の一環でもある

#### 中学校給食の実施は

**質問** 社会経済の発展とともに日本人の食生活も急激に変化し、栄養のバランスを欠いた食事が多くなっている。また、親子の触れ合う団らんの食事の場も少なくなっている現状から考え、今こそ学校給食の充実を図るべきときである。学校給食は教育の一環として位置づけられており、中学校の完全給食を一日も早く実現すべきだと考えるがどうか。

**教育長** 教職員の協力がないとできないものと考えており、校長や教頭とも協議したり主任会議にも出て意見を聞いているが、ほとんどの教職員が消極的である。むしろ弁当の意義を積極的に評価しており、五十六年に中学校給食については、当分の間実施は見送るとの答申を出した。また、学校教育計画の一環としての位置づけをしなければならぬこともある。そのためには、教職員の協力が必要となるわけで、教育委員会としてもこの問題について討議したが、全面的な協力が得られないのでは実施はできないという見解となった。

### 第2回定例会を

#### 傍聴された市民の方々

(敬称略)

村野 治子	静代子	渡辺 康弘	清三郎	土屋 東	洋子	古山キ
村野 武綾子	村野 一弘	村野 政木	春男	小嶋 藤	子	井上 誠
村野 良之助	嶋崎 良	村野 秋山	英蔵	遠藤 伊智	三子	平沢 寛
山崎 任子	原島	秋山	伊智 輝幸	同町 木村	一邦	鬼頭 湯沢

### “地方行革”

#### 基本的見解は

**質問** 自治省から地方行革の大纲が示され、今定例会に関連の条例が提案されているが、その問題とは別に地方行革についての市長の基本的見解について伺いたい。

**市長** 行財政改革は国、地方問わず最大の課題である。当市は以前から職員数の適正管理や組織、機構の見直し等努力してきたが、社会情勢も依然

として厳しい状況であり、来るべく高齢化社会や情報化社会に対応し、多様化する市民要望にこたえ、活力あるまちづくりのために、行政全般を見直し、簡素にして効率的な行財政の運営を確立しなければならないと考え、方針を決めたものである。

自治省から指導があったからやるわけではなく、変化する時代にマッチした行政や組織を考えなければならぬわけで、そのために審議会にお願いし、行政を見直していただくという考えである。

### たばこ販売店への

#### 労苦に報いる考えは

**質問** 市内には七十六店のたばこ販売店があり、二億三千万円ほど市に入ってくる見込みであるが、業者の方も日夜売上げ増進に努力している。こうした小売業者に対して市としてその労苦に報いる方法を考えたらどうか。また、自動販売機購入に対する補助について聞きたい。

**市長** 市の貴重な収入源であり、各小売店の努力はもちろん対策協議会の皆さんの努力によるところが大きく感謝してい

6月

22日	建設促進協議会理事會及び總會
27日	議會運営委員會、八高線電車化促進協議會、東京都三多摩地区消防運営協議會
28日	山形県天童市視察來市
29日	全国市議會議長會總會
30日	青梅線福生駅橋上駅建設促進期成會
31日	三鷹・立川間立体化複々線促進協議會、多摩地域都市モノレール等建設促進協議會
5日	議會運営委員會
6日	全国市議會議長會基地協議會陳情
11日	第二回定例会(第一日目)、全員協議會
12日	議會運営委員會
13日	第二回定例会(第二日目)
14日	建設委員會、厚生委員會、総務委員會
18日	議會運営委員會
20日	第二回定例会(第三日目)、議會運営委員會全員協議會
25日	横田基地対策特別委員會陳情
27日	青梅・羽村・福生地区都市下水路組合議會

る。自動販売機購入補助金制度もあったが、五十四年度から協議会の了解を得て廃止し、その時に長年の御努力に対し感謝状と記念品を贈呈し、謝意を表した経緯がある。

市では感謝状贈呈基準との関係や他の納税者との公平性等を考慮するとき、制度的に謝意を表する方法は難しいが、増収対策として協議会と市で協力していきたいと思う。

企画財政部長 市の感謝状贈呈基準にはこの関係は含まれていないが、ある一定の基準に達した達成記念という時に謝意があらわされるかどうか検討したいと思う。

### どう対処するのか

#### 指紋押捺問題

質問 本年度、全国で約三十七万人の外国人が登録更新を行うわけだが、各地で指紋押捺拒否者が出ている。そうした人に対し、告発はしないで、外国人登録証も発行している市もある。この指紋押捺についてどう思うか。

国の法務省の通達はかなり厳しい内容になっているが、指紋押捺における具体的な事務処理について、あるいは、警察側の

問い合わせに対してどう対応しているのか伺いたい。

市長 マスコミ等に報じられている問題だが、事務処理も問題なく進んでおり、対象者の御理解と都の指導等を得ながらやっていきたいと思う。

私も加入の全国市長会においても国に対し、法改正をする

## 米軍横田基地の安全対策はどうか

### 質問 ①

前回質問した以降の飛行回数と一月二日が最大の飛行回数であったと報告が前回されたが、その点どう対応したのか。また、三沢基地に配備されたF16三機が横田基地にも飛来していたことについて、基地側に申し入れしたのか。

② 岩国基地において米軍機が滑走路の端にある制止ワイヤーを破壊し、一般工場を直撃するという事故があった。

それと同じ物が横田基地にあるとすれば、国道や大きい工場もあって大事故の危険も考えら

よう決議し強く要請したところである。

市民部長 本人との確認方法は、原票により指紋と写真を併用している。

また、警察からの問い合わせは特定する人のみ回答するということになっている。

市長 ① 毎年、年末年始の飛行回数が増える。そうした安全対策について米軍なり防衛施設局と協議したことがあるのか。

市長 ① 毎年、年末年始の

飛行停止の申し入れを行っているが、飛行回数の多かった今年の正月二日の件につき、司令官に会い日本の正月のしきたりを申し上げ、非常に遺憾である旨話したわけである。

また、三月二十五日から四月二日までのF16が三機飛来していた件も、特に安全対策も含めて話をした。

② 横田基地にも同様の設備があるかどうか確認したところ滑走路の端にワイヤーで飛行機を制止させる設備があるが、岩

国のもとの型式も違い、日常定期点検等を行い、万全を期しているの心配はないのとのことであった。

事故防止や安全飛行等について、再度司令官に要請したい。

市民部長 三月から五月の離着陸回数だが、飛行総数は三月が千九百七十八回で、前回は千七百五十四回、二百二十四回の増、四月が千三百八十一回で前回は千五百二十四回、百四十三回



横田基地に着陸する飛行機

議 会 を 傍 聴  
し ま し ょ う  
次 の 定 例 会 は  
9 月 で す。

### 横田基地の拡充強化

#### 強く反対の立場を

減、五月は千二百五十七回で前年が千七百四十四回、四百八十七回の減となっている。

質問 横田基地も作戦室の増築や核攻撃式通信部隊の集中等施設が拡充強化され、ますます核戦争の中核指令基地として大きく変ぼうしていることが、国会の委員会でも明らかになった。このような横田基地の拡充強化に対して強く反対の立場を貫くべきだと思うが、当市に基地側からの連絡がきているのか。

市長 五十七年一月に防衛施設局より、司令部庁舎の増築について連絡を受けている。これは基地の施設整備の一環



として、日米合同委員会の合意によって国の予算で実施されたものである。基地は安保条約や日米地位協定によって設置されたもので、国政レベルの問題であり、今後の情勢推移に関心を持って対処していきたい。

国会の委員会において、在日米空軍の作戦室はあくまで在日米空軍自身の作戦を行うための施設であると理解しているとの答弁もあり、私どももそのように理解しているわけである。

### 迷惑な宣伝カー

#### 住民の安全対策は

質問 武蔵野台にある印刷会社の解雇撤回のデモ行進に、右翼の宣伝カーが突っ込むという事件があり、翌日は右翼の宣伝カーが三台来てスピーカーを大きくして宣伝行為を行った。表現の自由もあると思うが、周辺住民も大変迷惑を受け、抗議した市民に威嚇したということがあったが、市長はどう思うか。

市長 民間企業内の労働争議は、労使間で平穏に解決されたと思う。拡声機による騒音で市民が迷惑を受けていることは遺憾であり、良識ある行動を望むものである。

## 福生市行政改革

### 審議会条例を可決

市役所の行財政等全般を見直し、時代にふさわしいものにするため、福生市行政改革審議会条例が六月十二日に提案され、十四日の総務委員会で慎重に審議し、最終日(二十日)の本会議で起立採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決されました。

地方自治体を取り巻く社会経済の情勢は、依然として厳しい状況におかれています。当市では以前から職員の給与や定員管理の適正化、組織機構の見直し等努力を重ねてきました。

しかし、やがて来る高齢化や情報化社会に対応し、多様化する市民要望にもこたえられる、活力ある地域社会の形成や、住民福祉の増進を図っていくためには、高度経済成長期から安定成長期に移行した現在、行財政全般を見直し、時代に沿った簡素にして効率的な運営の確立を

を完了し、それを受けて推進本部で大綱を策定することになります。

今後、委員の方々が決まらしだい、福生市の行財政全般の効率的運営や、市役所内部の組織等の簡素化などについて、十分審議され、より良い施策や制度が実現されることと思われま

## 人事

### 人権擁護委員候補者に

榎本氏、宇佐美氏が再選

十月末で任期満了となる同委員(二名)の候補者の推薦について、市長より提案されたため、議会で現在も活躍されている両氏を適任者として、全員一致で再推薦しました。

榎本令秀氏(福生五〇七)

は昭和四十八年四月から、また、宇佐美良時氏(熊川六九七)は昭和五十四年十一月から就任し、市民のあらゆる人権問題の相談などに活躍されておられます。

陳情  
請願

継続

○陳情第五十九―四号

横田商栄会駐車場設置に関する陳情書

福生二二七二

北村 安忠氏

―昭59・9・7提出―

○陳情第六十一―号

「外国人登録法」改正に関する陳情書

志茂一四一

金 隆吉氏

―昭60・5・20提出―

○請願第六十一―号

すべての合成洗剤をなくし安全な石けんの普及に関する請願書

青梅市新町一九六八

佐々木 つぎ代氏

他百四十八人

新しく編集委員になりました。

今後も親しまれ、読みやすい市議会だよりを目指します。

委員長 指田 保雄  
副委員長 上野 重勝  
委員 赤星 行人  
木村 徳藏  
田村 市郎  
吉治 寅  
正米 吉  
上田 井  
東田 関

議会選出議員・各種行政委員一覽表

◎委員長 ○副委員長 (昭 60.5.13現在)

区 分		氏 名						
常任委員会	総務委員会	◎井上 寅吉 遠藤 洋一	○林田 武 仲村 清信	村野和一郎 東田 正治	上野 重勝 田村 市郎			
	建設委員会	◎木村 徳藏 加藤謹之助	○堀川 實 宮沢 良一	在原 博 村尾 栄次	齋藤 巽 関 米吉			
	厚生委員会	◎赤星 行人 小野沢 久	○石川 泰一 高水 惣八	石川 保 指田 保雄	原 敏子 森田 治男			
議会運営委員会		◎指田 保雄 木村 徳藏	○上野 重勝 東田 正治	赤星 行人 田村 市郎	井上 寅吉 関 米吉			
横田基地対策特別委員会		◎加藤謹之助 宮沢 良一	○齋藤 巽 田村 市郎	仲村 清信 村尾 栄次	高水 惣八 森田 治男	東田 正治 関 米吉		
一部事務組合	福生伝染病院組合議会議員	林田 武	赤星 行人	田村 市郎				
	狭山火葬場組合議会議員	仲村 清信	石川 泰一	高水 惣八				
	西多摩農業共済事務組合議會議員	石川 泰一	高水 惣八					
	青梅・羽村・福生地区 都市下水路組合議會議員	森田 治男	在原 博	宮沢 良一				
	西多摩衛生組合議會議員	森田 治男	赤星 行人	指田 保雄				
	東京都三多摩地域廃棄物 広域処分組合議會議員	田村 市郎						
	東京都市収益事業組合議會議員	高水 惣八	宮沢 良一					
各種行政委員会	民生委員推せん会	赤星 行人						
	福生市国民健康保険運営協議会	赤星 行人	石川 保	原 敏子				
	福生市都市計画審議会	森田 治男 堀川 實	在原 博 宮沢 良一	齋藤 巽 村尾 栄次	木村 徳藏 関 米吉	加藤謹之助		
	福生市駐留軍関係離職者 等対策協議会	井上 寅吉	関 米吉					
	福生市青少年問題協議会	仲村 清信	林田 武	村野和一郎	井上 寅吉			
	福生市農地課税審議会	石川 泰一						
	福生市特別土地保有税審議会	堀川 實						
	福生市育英資金運営審議会	森田 治男	井上 寅吉					
	福生市史編さん委員会	森田 治男	赤星 行人	井上 寅吉	木村 徳藏			
	福生市交通安全対策協議会	森田 治男	赤星 行人	井上 寅吉	木村 徳藏			
	福生市表彰審査委員会	森田 治男	仲村 清信	井上 寅吉	木村 徳藏	赤星 行人		
	福生市ゴミ減量推進協議会	森田 治男	仲村 清信	石川 泰一	赤星 行人	石川 保	原 敏子	
	福生市社会福祉協議会	赤星 行人						
	青梅線福生駅橋上駅舎 建設促進期成会	森田 治男 小野沢 久	仲村 清信 東田 正治	上野 重勝	加藤謹之助			
	福生市社会福祉協議会 れんげ作業所運営委員会	赤星 行人						
	在宅老人福祉地域ケア システム化推進委員	赤星 行人						
	三多摩上下水及び道路 建設促進協議会	森田 治男	木村 徳藏	村尾 栄次	齋藤 巽			
	多摩川上流域下水道 事業対策協議会	森田 治男	木村 徳藏					
	大多摩観光連盟	森田 治男						
	三鷹・立川間立体化 複々線促進協議会	森田 治男	井上 寅吉					
多摩地区離職対策 連絡協議会	関 米吉							
東京都三多摩地区 消防運営協議会	森田 治男							
八高線八王子・高麗川間 複線電化促進協議会	森田 治男							
首都圏中央連絡道路 建設促進協議会	森田 治男							
多摩地域都市モレール 建設促進協議会	森田 治男	木村 徳藏						
西多摩地域広域行政 圏協議会	森田 治男							
監 査 委 員	村尾 栄次							